

私の生活の一部伝書鳩飼育 第1弾

平成30年7月吉日



皆さんこんにちは、第一回目の会報に際し私の生活の一部でもあります鳩・鳩レースを取り上げて頂きました。一年間続きますのでよろしくお願ひいたします。そして皆さんの中でも一人でも伝書鳩が好きになっていただけるように頑張ります。最近は余り馴染みがありませんが私の少年時代は同級生で10人中9人は鳩の飼育に夢中でした 学校での休み時間は殆んど鳩の話ししかありませんでしたので勉強はあまり身につかず 家でも勉強する暇はありませんでした。中学に入つても生活は殆ど変わりませんから家の勉強は全く(すこしは)しませんでしたから。もっとも高校受験を考えたのは中学二年の夏ごろになって両親と一緒に面談で先生から高校進学のことはどう考えているのですかと言われてからでした。周りの人達(近所の先輩方)がみんな同じようでしたし進学すること自体あまり頭になかったと思います田舎の風潮みたいなものでして。今では少し後悔もあります鳩のせいにはできませんが友達の中には毎日のように一緒に遊んでいて、春日部の有名な高校に入学して、そしてお医者さんになった奴もいましたよ(たぶんひとりで一生懸命勉強していたのかな・努力・努力だと思いますね)笑い・・・

因みに私は小学3年生ごろから飼育を初めて途中高校卒業後東京のあるデパートに就職したせいでちょっとのブランクはありましたが飼育歴58年位になります、昭和50年に結婚を機に自宅に戻ったことでまた飼育を始めたと言うわけです現在電気工事業を営みながらまた飼育を始めました屋号は有限会社尾ヶ井電器商会です。

私が鳩を飼育していたところまでは上記でご理解いただいたと思いますが、何故鳩レースを始めることになったのか、これが本題です元々飼育が好きで飼っていたわけですから、競争が目的の鳩レースをする気はなかった、それは子供の頃に親から聞かされていたこともあります、大人のお遊びだから色々と汚い駆け引きがあるから子供が参加しちゃ駄目だ またお金もかかるからと言われていました そんなことですから趣味での飼育です 現在も知人隣人その他私は鳩の売り買いは絶対にしない常に交換かプレゼントですがそれが私の鳩飼育の原点であり私のポリシーです。

ある日曜日、友人H氏（商店会の仲間）の店の蛍光管交換に行きました。仕事が終わってH氏も鳩飼育をしていましたから鳩の話になり たまたま熱のこもったレースの話になったわけですよ・・・。

H氏が私に尾ヶ井さん鳩レースに参加してみないかいと言い出しました、自分も少しは考えたこともありましたが なんせ その頃はゴルフに夢中で（年間50～60回）でしたから鳩レースの事は・・・・。

翌月曜日は 私の方は商店会のゴルフコンペでH氏は参加していませんでした帰ってきてビックリ・・・・・・・。

友人のH氏（商店会の仲間）が倒れたらしいと聞きました。後に奥さんから連絡があり うちのお父さんもう鳩は飼えないかもしれないから尾ヶ井さんお願ひできないでしょうかと言うことでした。H氏がそんなにも重病だとは思っていなかったので 少し位の間なら私が面倒を見るからと言うことでひき受けました 後日小屋もと引き取りに行きました それから3・4日後に友人H氏は他界しました。連絡がくる前夜 外出先から帰宅しH氏の鳩小屋を見てビックリ鳩が一羽もいません全部逃げてしましました 小屋のドアが開いて帰ってしまったのです 私は内心困ったなあ～状態で床にはいりました翌朝知人のS・Nさんから彼が亡くなったとの知らせがありました。私は胸がゾッとしたね 多分鳩さん達がH氏の見送りに帰ったとしか考えられませんでした

初七日が過ぎた頃から私の家にある友人H氏の鳩小屋に1羽ずつ戻ってくるではありませんか。H氏と私の自宅では直線距離600メートルぐらいあります私の家に来て3・4日しかたっていませんからね 私は長年鳩飼育をしていますが超ビックリです まさかあの時に言ったH氏の言葉「鳩レースがしたい」

が 私をゴルフ狂いから鳩レースへと導いてしまったきっかけと成了ったわけです。私は H 氏が遺言として託された言葉と感じた訳でしたから、直ぐに日本鳩レース協会所属 埼玉連合会という団体に入会させて頂き翌年から H 氏作出の鳩中心でレースに参加する事になりました その後の内容についてエピソード等付け加えて おいおいお話をさせて戴くとして今では鳩狂いになっています 今回から鳩シリーズとして 12羽掲載させて頂きます また 12羽にまつわる話で少しずつ記憶をたどって掲載していきますので楽しみにしてください。きっと知り合いが登場するかもしれません。初回の掲載の鳥ですがレースを始めて3年目で、春レースに於いて北海道は汐見町から (1000キロ) 越谷間で尾ヶ井鳩舎が初めて 埼玉県全体のレースで総合6位入賞の成績になった鳥です。名前は春1号 (ハルイチ号) と言います。名前の付け方にはそれぞれに飼い主が決める訳ですが私は春レースにおいて埼玉連盟総合レースで10位以内に入った鳥を順番に付けてきました 実際には血統書と言われるものがあります 名前を付けない飼い主もいます もし10位以内に入賞しますとレース鳩の成績表に掲載されます 付ければ血統書の通りに掲載されますので 血統書は必要ですが何よりも成績優秀の鳥に感謝を込めて名付けています。これから色々な名前の鳥が登場しますおいおいと説明していきます。まずは春1号です 血統はフェルハイエ系と言います 近所の仲間で ♂鳩 M・S 氏作 X 親戚関係の♀鳩 T・N 氏作です。♂鳩のフェルハイエ系の名前の由来は作出者の名前から取っています アンドレフェルハイエ氏・ジョセフフェルハイエ氏・のことです 高齢の為だいぶ前にリタイヤしていて大部分は世界中に分譲したそうです。私の鳩舎に来た鳩も両者のいずれかのものだと思いますその頃 M・S 氏がどこから入手したものかはわかりませんが M・S さんは近所で4つ先輩にあたり私がレースを始めたのを知り早々に春一号の♂親鳩を貸してくれました 配合鳩は親戚関係で T・N 氏 既に素晴らしい成績でしたからね 春一号の♀親はかなりの鳥でした T・N さんは私よりすこし若いがすべて一直線の性格 だからこそ短い期間で素晴らしい成績を残せたのだと思います また家業のレッカ一業も繋盛し今では鳩飼をやめ大間野のマグロ三昧だと 羨ましいかぎりです。またここのかみさんがユニークだ 仕事で T さんがいないと率先して鳩小屋に入り糞掃除・餌与え・社外運動・レースから鳩が帰って来ると口笛を吹きまくるあり様まさに女鳩飼のかがみです ここのかみさんの名はトクちゃんといい大変な働き者です 鳩飼は余り家を空けられませんから T さんは幸せ者です 好成績の陰でトクちゃんの協力があったればこそだと思います。